

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款:教育費 項:特別支援教育費 目:特別支援教育振興費

事業名 特別支援学校職業教育テキストデジタル化事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

※ 特別支援教育課 特別支援教育企画係 電話番号:058-272-1111(内8686)

E-mail: c17783@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,896 千円 (前年度予算額: 2,807 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,807	0	0	0	0	0	0	0	2,807
要求額	1,896	0	0	0	0	0	0	0	1,896
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・文部科学省のGIGAスクール構想により、令和2年度に特別支援学校の児童生徒に1人1台端末が配備され、ICT教育の充実がますます求められている
- ・平成24年度から3年間かけて作成した職業教育に関するテキストを令和4年度から順次電子書籍化し、各特別支援学校における授業で活用することで、さらなる職業教育の充実を図ることができる。

(2) 事業内容

○テキストの電子書籍化

- ・「喫茶サービス」「ビルクリーニング」「福祉サービス」のテキストについて、指導内容を改訂する。
- ・「ビルクリーニング技能士」の検定試験や、「喫茶サービス」といったアビリンピックの競技種目の模範実技を追加する。
- ・テキストでは写真で示されていた指導内容について、動画撮影を行い、生徒がよりイメージしやすい教材となるよう作成する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県立特別支援学校における学びの充実のための事業であり、県が負担する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託費	1,056	電子書籍化に伴う業者委託費用
報償費	690	専門家（企業担当者）へ謝礼
旅費	140	旅費
消耗品費	10	記録用媒体
合計	1,896	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

新子どもかがやきプラン（平成29年3月策定）
第3次岐阜県教育ビジョン（平成31年3月策定）

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 職業教育に関するテキストを電子書籍化し、各特別支援学校の生徒が活用することで、ICT教育の推進及び職業教育の充実を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

既存のテキストをデジタル化し、生徒の活用につなげることが事業内容であり、指標の設定になじまない

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT教育の推進と職業教育の充実は重要度が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価) 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ すでに紙媒体でのテキストがあるため、デジタル化することは効率的である。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 前回作成時から内容が古いものがあり、現在の指導内容にあったものとする必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 作成後はデジタル化のメリットを十分に活用し、効果的な授業となるよう取り組む。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】

県単独補助金事業評価調書

 新規要求事業

 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例：人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--